事例No.	2194
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	岡山県新見市

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・新たな政策手法の確立・活用 ・公共施設活用

事例種類	地域資源活用

事例内容・タイトル

IT×森林×廃校環境管理型きくらげ生産事業

出典

地域力創造推進に関する研究会（第3回）

ローカル10,000プロジェクト 岡山県新見市
「IT×森林×廃校　環境管理型きくらげ生産事業」

令和元年度採択

【事業背景】

○若者の都市部への流出が続いており、全国水準を上回る人口減少が進んでいる。

○豊富な森林資源があるが、活用がされておらず、地域活性化を進める中で活用を模索する必要がある。

○少子化の進行を背景に、利用されなくなった校舎等など、多数の遊休資産を有しており、取壊しなども検討しているが、費用負担が大きく、活用の促進を検討する必要がある。

【事業実施者】 新見ファーム合同会社

【自治体・金融機関の支援内容】

○公費による交付額：

国費（地域経済循環創造事業交付金）：16,000千円

地方費：8,000千円

○トマト銀行による融資：12,000千円

備北信用金庫による融資：12,000千円

【取組内容】

○廃校となった遊休資産を改修整備し、IT技術を活用したきくらげの生産事業を実施

○コンピューター制御により温度・湿度・水分管理が可能な栽培室を設け、黒きくらげ、白きくらげの通年菌床栽培を行う。

○生産したきくらげは、個人消費者や外食産業事業者へ生食用として販売するほか、乾燥加工し、外食産業事業者、食品加工事業者等へ販売する。



栽培イメージ



活用した遊休資産



コンピューター制御による管理の様子

【地域への貢献】

○地元に生物生産の知識を学ぶ県立高校があり、地元高校生の職業選択肢の１つになる。

○木材資源の利用拡大につながり、林業の収益性向上に資する。

○体力的負担が少ない作業が中心で、体力的に不安がある方の雇用に寄与する。

○　遊休資産の有効利用